

小学校第4学年社会科 指導計画案 1

1. 単元名 水はどこへ※前段で「水はどこから」に取り組みとより広い展開が期待できる。
2. 単元の目標
 - ・自分たちの生活で使う水に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。【関心・意欲・態度】
 - ・下水道事業に従事している人々の働きが、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えることができる。【思考・判断】
 - ・下水道事業について見学や聞き取りをしたり、具体的な資料を活用したりして調べ、自分なりの方法で表現したりすることができる。【技能・表現】
 - ・下水道にかかわる対策や事業は、計画的・協力的に進められていることがわかる。【知識・理解】

指導計画（総時数 12 時限）

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	教材など
出会う	1	・使った水はどこへ行くのかを考える。 ・家庭から出る排水にはどんなものがあるかを考える。 ・もし排水がそのまま川や海に流されたらどうなるか予想する。	・家庭から出る排水に目を向けさせ、排水の処理の大切さをとらえ、処理の方法を探る意欲を高めたい。	・ワークシート 1
	1	・下水処理場の果たす役割を知る。	・市街地化の進行過程で、一時期〇〇川が汚れてしまったことを気づかせる。 ・〇〇市の排水は、〇〇下水処理場を通じて、〇〇川に流れ込んでいることに気づかせる。	・現在、30 年前、50 年前の〇〇川の写真 ・〇〇市の人口の推移 ・〇〇市の下水道普及率 ・〇〇市下水道パンフレット
つかむ	2	・下水処理施設の見学計画を立てる。	・〇〇市の下水道の現状について資料を参考にさせながら、下水処理場での質問や見学の計画を考えさせる。	・〇〇市下水道パンフレット ・ワークシート 2
調べる	4	・事前の学習をもとに、下水処理施設を見学する。	・下水処理場の見学を通じて、処理場のはたらきにふれ、環境を考えた工夫や努力があることに気づかせたい。	・ワークシート 2.3
深める	2	・見学のまとめを行い、下水道が環境の維持と向上に役立っていることをしる。 ・さらに水をきれいにするためには自分たちに何ができるかを考える。	・下水処理をしても水はもとの上水ほどにはきれいにならないことや、取り除けない物質もあることに気づかせ、下水処理場に負担をかけないことの大切さをとらえさせる。	・ワークシート 4
まとめる	2	・〇〇市の下水道新聞をつくる ・もしくは学習発表会を行う。	・	

小学校第4学年社会科 指導計画案2

3. 単元名 **安全な暮らしを守る**

4. 単元の目標

- ・学校や地域の治水のための施設の配置や役割について、関心をもって調べようとしている。
- ・水害防止についての心構えをもち、自分たちにできることに取り組もうとしている。

【関心・意欲・態度】

- ・水害からの人々の安全を守る下水道の取り組みや人々の働きに問題意識をもち、そこに従事している人々の工夫や努力について考えている。

【思考・判断】

- ・地域の人々の安全を守る下水道の取り組みを見学したり、調査したりするとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。

【技能・表現】

- ・人々の安全を守るための下水道の働き、関係諸機関との協力の様子がわかっている。

【知識・理解】

指導計画（総時10時限）

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	教材など
出会う	1	・過去の水害についてしり、水害を防ぐために必要なことを考える。	・過去の水害の写真を見せ、水害を防ぐことの大切さについて気づかせる。	・過去の水害の写真 ・ニュース映像
	1	・下水道の果たす役割を知る。	・降った雨を安全に流す、ためるなどの方法で、街が水につからない方法をかんがえさせる。	・各種治水対策事例の写真
つかむ	2	・学校のまわりにある治水施設を探して見る	・マンホールから雨水管をみつけたり、学校内の防災調節池などがあればそこを見つけて出す。	
		・治水施設の見学計画を立てる。	・資料を参考にさせながら、治水施設での質問や見学の計画を考えさせる。	・〇〇市の治水関連パンフレット ・ワークシート
調べる	2	・事前の学習をもとに、下水道による治水施設を見学する。（雨水貯留管等）	・治水施設の見学を通じて、そのはたらきにふれ、まちの安全を守る工夫や努力があることに気づかせたい。	・ワークシート
深める	2	・見学のまとめを行い、下水道が地域の安全の確保に役立っていることをしる。 ・さらに水害を防ぐためには自分たちに何ができるかを考える。	・治水対策をしても完全には水害は防げないこともあることに気づかせ、一人一人が水害に備えることの大切さをとらえさせる。	・ワークシート
まとめる	1	・新聞をつくる	・	